

IOD・IRPDの
適応症は？

上部構造の
設計ポイントは？

メンテナンスの
注意点は？

Q&Aでよくわかる インプラントデンチャーを使いこなすための知識と秘訣！

HYORONブックレット

IODとIRPD の疑問を解決 Q&A

インプラントデンチャーの効果的な活かし方

編著

池邊一典

大阪大学大学院歯学研究科
有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 教授

大久保力廣

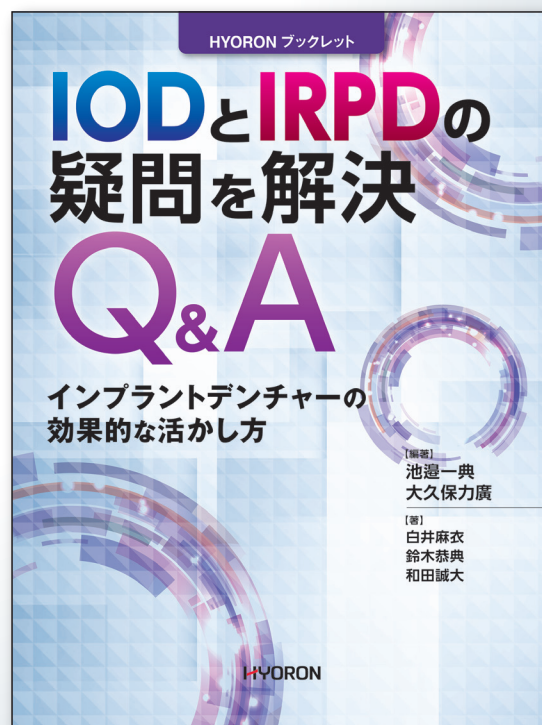
鶴見大学歯学部
有床義歯補綴学講座 教授

著

白井麻衣・鈴木恭典・和田誠大

- 顎堤が著しく吸収した無歯顎症例や、すれ違い咬合を呈している部分欠損症例といった“難症例”に対して、インプラントを支台としたインプラントオーバーデンチャー（IOD）やインプラントパースナルデンチャー（IRPD）の有効性が示されており、超高齢社会においてQoL向上のため、より一層の普及が望まれています。
- 本書では、IODとIRPDの治療計画や設計に必要な知識、臨床ポイントなどを、多くの写真とイラストを用いてわかりやすく解説しています。
- 欠損補綴治療の治療オプションとしてインプラントデンチャーを効果的に活用するために、お役立てください。

A4変判・80頁・オールカラー・定価5,280円(税込)



HYORONブックレット

月刊『日本歯科評論』誌上でご好評いただいた特集などを、雑誌掲載後の情報も適宜追加し、ワンテーマの書籍として読みやすく再編するシリーズです。

株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町531-5 OKADOビル
Tel.03-6709-6771 Fax.03-6709-6774
<https://www.hyoron.co.jp>

IODとIRPDの疑問を解決Q&A

インプラントデンチャーの効果的な活かし方

内 容 紹 介

Part I | IODを使いこなす

1. IODの疑問に答える

- Q1 IODの適応症は？
- Q2 IODによって期待できる機能回復は？
- Q3 インプラント埋入本数は？
- Q4 インプラント体の埋入ポジションは？
- Q5 インプラントの長さ・太さは？
- Q6 各アタッチメントの特徴と選択方法は？
- Q7 上部構造設計のポイントは？
- Q8 IODのメンテナンスの注意点は？

2. 難症例をIODで解決する

Part II | IRPDを使いこなす

1. IRPDの疑問に答える

- Q1 IRPDの適応症は？
- Q2 インプラントの埋入ポジションは？
- Q3 インプラント埋入本数は？
- Q4 IRPD設計のポイントは？
- Q5 各アタッチメントの特徴と選択方法は？
- Q6 初期固定の獲得が困難な上顎に应用する場合の注意は？
- Q7 インプラント荷重時期は？
- Q8 インプラントの長さ・太さは？

2. 難症例をIRPDで解決する